

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



# さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年10月21日 文責:校長 森川 稔



## ふるさとを学び、ふるさとを感じる

本県の学校教育が目指すいくつかの項目の中に、「ふるさと教育」があります。学校での学習において、地元田平町や平戸市、長崎県について学ぶことは、これから社会の中で生きていく子どもたちにとって、ふるさとを感じ、誇りに思い、自分ができることを考える機会になります。

6年生は、総合的な学習の一環で、市内の薄香漁港の水産会社に校外学習に行きました。現地では、魚を育てる水産業の仕事についてとても分かりやすく説明していただきました。その中でも、特に環境悪化による赤潮の被害や、稚魚から出荷できる大きさまで育てることの難しさなどについてメモをとりながら真剣に聞いていました。

次に船に乗せていただき、実際に魚がいるいかだでえさやり体験をしました。固形のえさのにおいや大きさなどを確認したあと餌をまくと…ものすごい勢いで餌を食べるタイの様子にみんなびっくりしていました。

海から戻ってきたあとは、工場内で作業されている焼きあごの工程を見学し、マイナス20度の冷凍庫やブリの解体の様子などを見せていただきました。この学習を通して、水産業の仕事はもちろん、食の大切さや日常生活のありがたさに気づくことができました。



授業ではありませんが3年生は学年レクリエーションで田平昆虫自然園に行きました。職員の方の案内で、自然の中にいる虫に触れ、松ぼっくりを使った作品づくりなども楽しみました。普段の集団下校の道中や昼休みでも子どもたちは、自然の中にいる虫や草花にとっても興味を持っています。とても純粋な心の子たちです。産業だけでなく、ふるさとの自然を愛し、大切にしていこうという気持ちになった親子レクでした。



## 記念式典・学習発表会に向けて

創立150周年記念式典までのカウントダウンも進み、先週は歌声集会で式典の最後にみんなで合唱する「ふるさと」(嵐の歌です…)の練習をしました。自分たちが学び遊び、学校生活を送っているこの田平東小、田平町を大切にしていこうという思いを込めて歌います。並び方を練習し、ちょっと難しいメロディーに苦勞しながらも精一杯声を出していました。本番までのあと3回程度の練習を行う予定です。当日は、保護者、地域の皆様も一緒に歌っていただければと思います。

また、学習発表会に向けて各学年とも演目の練習をがんばっています。劇や音楽、学習報告などいろいろな内容が計画されています。発表に向けて新しいことをするのではなく、これまで学習してきたことを活かして自分たちの思いを声や動き、表情で伝えられるようがんばります。子どもたちの発表にご期待下さい。



## これまでとかわらぬご協力を！

お子さんの学校での様子や保護者の方への連絡として「安心安全メール」「学級通信」「連絡帳」「電話」「家庭訪問」などいろいろな方法でお子さんについてのことを共有して、よりよい学びにつなげていきたいと思い、それぞれの担任や担当が連絡させていただいています。一人一人のお子さんをよく知り、万一トラブル等があれば早期に解決、改善を目指し、保護者の方へご協力の依頼など、連絡内容はいろいろとありますが、大切なことは学校と家庭が相互に確認、理解し合うことだと思います。



そこで、これまで同様、特に**連絡帳**や**配付物**について、

- ・お子さんの下校後（保護者の方の帰宅後）必ず確認をお願いします。内容によっては、必ず返答や対応をお願いしたいものや集金などお金に関するものもあります。
- ・連絡帳等、お子さんが記入した連絡内容、担任の記入内容については必ず確認を、特に担任の記入については必ずサイン（印鑑など）をお願いします。

これらについて引き続きご理解、ご協力をいただくことで、学校からの一方通行の連絡ではなく、相互確認、相互理解につながります。どうぞよろしくをお願いします

田平東小HPはこちらから→

